

小売物価統計調査（構造編） －2018年（平成30年）結果－

総務省では、地域別、店舗の形態別等の物価を明らかにすることを目的とし、小売物価統計調査（構造編）を、2013年（平成25年）から実施しています。
この度、2018年（平成30年）の結果を取りまとめたので、公表します。

1 消費者物価地域差指数

（1）都道府県別の物価水準（2ページ）

- 物価水準が特に高いのは東京都（104.4）、神奈川県（104.3）、最も低いのは宮崎県（96.0）
- 東京都の物価水準は、宮崎県に比べて8.8%高い

（2）10大費目別の物価水準（4ページ）

- 「住居」は、東京都が愛媛県の1.61倍で、物価水準の差が最大
- 「保健医療」は、富山県が大分県の1.06倍で、物価水準の差が最小

（3）地方別の物価水準（5ページ）

- 物価水準が全国平均（=100）を超えているのは関東地方のみ

（4）都市別の物価水準（6ページ）

- 物価水準が特に高いのは川崎市（105.4）、東京都区部（105.1）、横浜市（105.1）、最も低いのは前橋市（96.4）

（5）物価水準と人口規模との関係（7ページ）

- 物価水準が高い地域は、人口規模も大きい傾向にある

2 店舗形態の違いによる価格差

（1）スーパーと一般小売店の比較（10ページ）

- うるち米、コロッケ及び清酒はスーパーの価格が低い
- 豚肉は一般小売店の価格が低い

（2）スーパーと量販専門店の比較（12ページ）

- ラップはスーパーの価格が低い
- 洗濯用洗剤、ドリンク剤、整髪料及び生理用ナプキンは量販専門店の価格が低い

※本資料の注意事項

消費者物価地域差指数における「総合」及び「住居」は「持家の帰属家賃」を含まない。

1 消費者物価地域差指数

消費者物価地域差指数とは、地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したものであり、全国平均を基準（=100）とした指数を、地域別（地方10区分，都道府県，都道府県庁所在市及び政令指定都市）に作成したもの。

(1) 都道府県別の物価水準

- 物価水準が特に高いのは東京都，神奈川県，最も低いのは宮崎県
- 東京都の物価水準は，宮崎県に比べて8.8%高い

2018年（平成30年）平均消費者物価地域差指数（全国平均=100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が104.4と最も高く、次いで神奈川県（104.3）などとなっている。

一方、最も低いのは宮崎県（96.0）で、次いで鹿児島県（96.1）、群馬県（96.3）、福岡県（96.6）などとなっている。

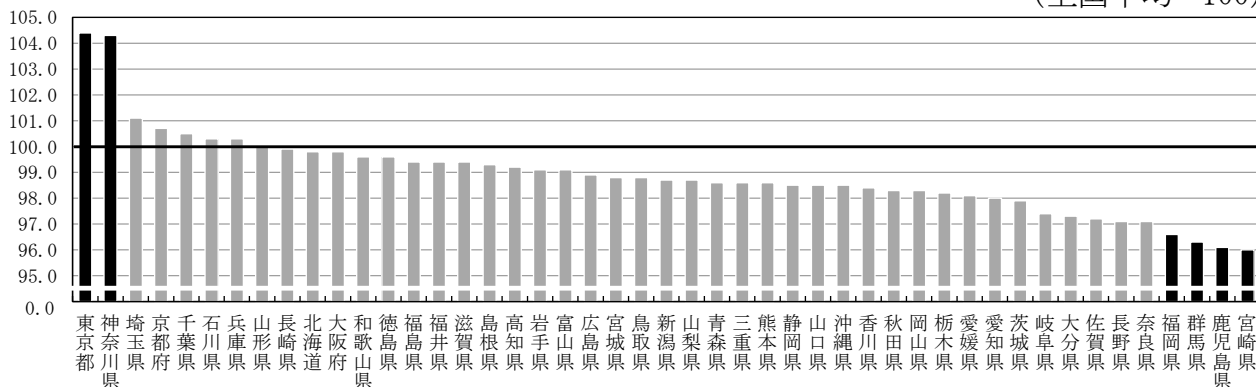
最も高い東京都は最も低い宮崎県に比べて、8.8%^(注1)高くなっている。

(図1-1, 別表1)

(注1) $\frac{\text{高い指数} - \text{低い指数}}{\text{低い指数}} \times 100$

図1-1 都道府県別消費者物価地域差指数（総合）

(全国平均=100)



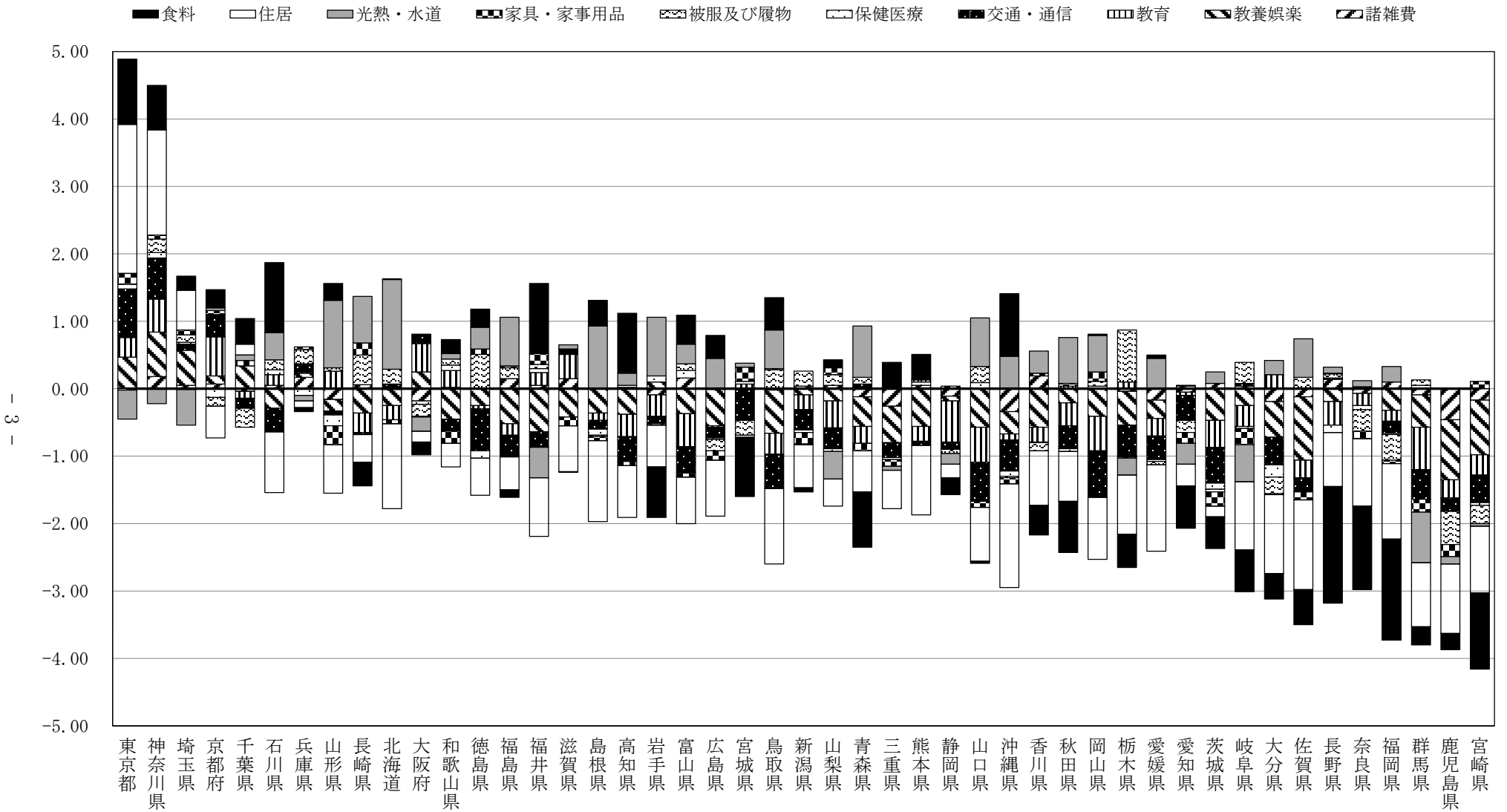
物価水準が特に高い東京都及び神奈川県について、「総合」が全国平均より高い要因を10大費目別に寄与度^(注2)で見ると、いずれも「住居」（それぞれ2.21, 1.56）が最も寄与している。

一方、物価水準の低い4県（宮崎県，鹿児島県，群馬県及び福岡県）について、「総合」が全国平均より低い要因をみると、宮崎県及び福岡県では「食料」（それぞれ-1.13, -1.50），鹿児島県及び群馬県では「住居」（それぞれ-1.03, -0.95）が最も寄与している。また、宮崎県及び福岡県においても「住居」（それぞれ-0.99, -1.12）の寄与度が大きく、4県ともに「住居」が大きく寄与している。

(図1-2, 別表2)

(注2) 物価水準全体（「総合」）に対して、各内訳項目がどれだけ影響したかを示したもの。ここでは、ラスパイルス類似算式の指数の寄与度とパーシェ類似算式の指数の寄与度の平均値を近似的な値として用いている。したがって、各内訳項目の寄与度を足し上げても、「総合」の寄与度（=都道府県別消費者物価地域差指数-全国平均（100））には必ずしも一致しない。

図1-2 都道府県別「総合」に対する10大費目別寄与度



(2) 10大費目別の物価水準

- 「住居」は、東京都が愛媛県の1.61倍で、物価水準の差が最大
- 「保健医療」は、富山県が大分県の1.06倍で、物価水準の差が最小

10大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率^(注3)をみると、「住居」が最も高く、最も高い東京都(133.0)は最も低い愛媛県(82.7)の1.61倍となっている。このほか、「教育」(1.37)、「被服及び履物」(1.31)、「光熱・水道」(1.26)などで比率が高くなっている。

一方、比率が低いのは、「保健医療」の1.06倍で、次いで「交通・通信」(1.09)、「食料」及び「諸雑費」(共に1.10)などとなっている。

比率について、小売物価統計調査(構造編)開始年である2013年(平成25年)の結果と比較すると、「総合」は1.09と同率であった。10大費目別にみると、「被服及び履物」(0.11ポイント)、「光熱・水道」(0.04ポイント)などで拡大している。一方、「教育」(-0.05ポイント)、「住居」(-0.02ポイント)は縮小している。

(表1-1, 別表1)

(注3) 比率 = $\frac{\text{指数の値が最も高い都道府県の指数}}{\text{指数の値が最も低い都道府県の指数}}$

表1-1 都道府県別にみた10大費目別消費者物価地域差指数

(全国平均=100)

10大費目	指数の値が最も高い都道府県		指数の値が最も低い都道府県		比率 (2018年)	比率 (2013年)	比率の差 (2018年- 2013年)
総合	東京都	104.4	宮崎県	96.0	1.09	1.09	0.00
食料	石川県, 福井県	103.4	長野県	94.4	1.10	1.10	0.00
住居	東京都	133.0	愛媛県	82.7	1.61	1.63	-0.02
光熱・水道	北海道	114.9	群馬県	91.3	1.26	1.22	0.04
家具・家事用品	宮城県	105.2	山形県	93.4	1.13	1.14	-0.01
被服及び履物	栃木県	117.4	鹿児島県	89.9	1.31	1.20	0.11
保健医療	富山県	102.2	大分県	96.5	1.06	1.06	0.00
交通・通信	東京都	104.7	岡山県	96.2	1.09	1.08	0.01
教育	京都府	116.0	群馬県	84.5	1.37	1.42	-0.05
教養娯楽	神奈川県	105.5	佐賀県	91.8	1.15	1.14	0.01
諸雑費	香川県	102.8	鹿児島県	93.5	1.10	1.11	-0.01
(参考) 家賃を除く総合	神奈川県	103.4	鹿児島県	96.7	1.07	1.06	0.01

(3) 地方^(注4)別の物価水準

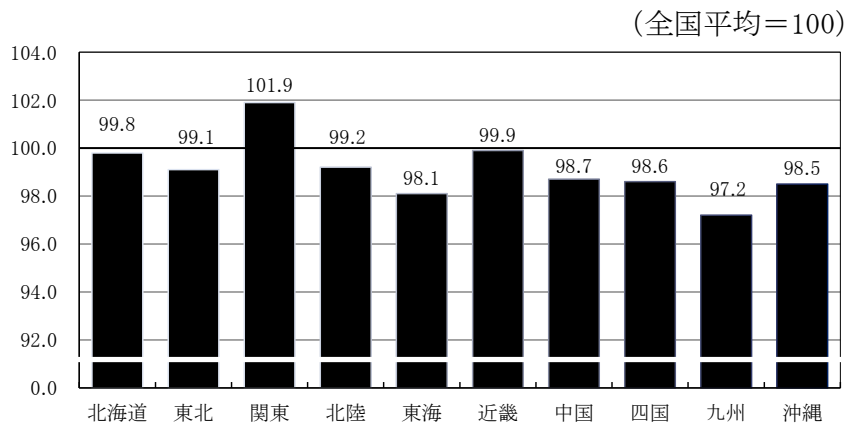
□ 物価水準が全国平均 (=100) を超えているのは関東地方のみ

地方別に「総合」をみると、全国平均 (=100) を超えているのは関東地方 (101.9) のみとなっており、関東地方には、都道府県別の物価水準が特に高い東京都及び神奈川県が含まれる。

一方、最も低いのは九州地方 (97.2) であり、九州地方には、都道府県別の物価水準が低い4県のうち宮崎県、鹿児島県及び福岡県が含まれる。

(図1-3)

図1-3 地方別消費者物価地域差指数 (総合)



(注4) 地方10区分

- 北海道 … 北海道
- 東北 … 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
- 関東 … 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県, 長野県
- 北陸 … 新潟県, 富山県, 石川県, 福井県
- 東海 … 岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県
- 近畿 … 滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県
- 中国 … 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
- 四国 … 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
- 九州 … 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県
- 沖縄 … 沖縄県

(4) 都市^(注5)別の物価水準

□ 物価水準が特に高いのは川崎市，東京都区部，横浜市，最も低いのは前橋市

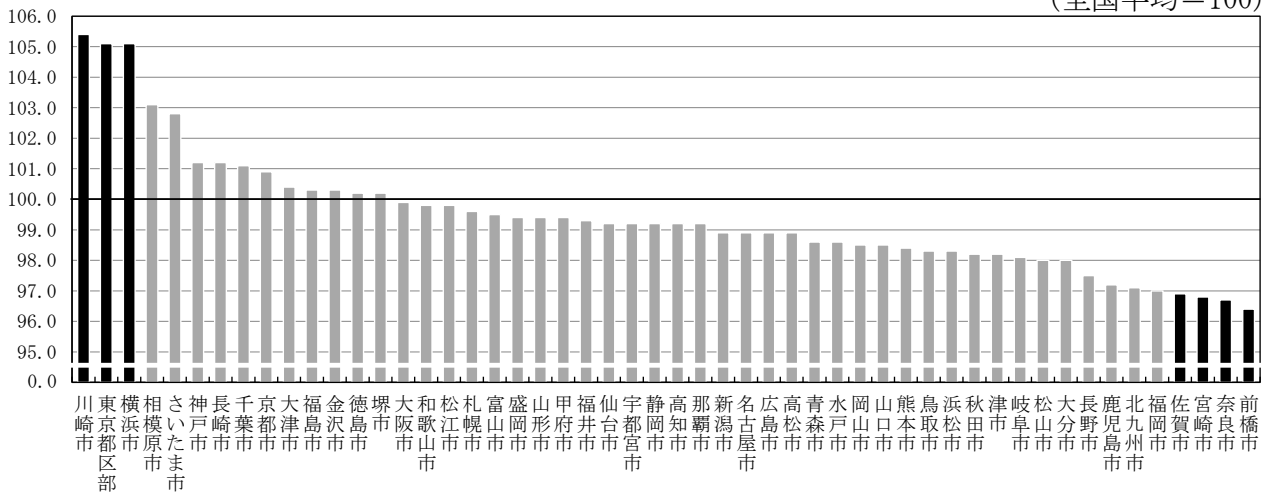
都市別に「総合」をみると，川崎市が105.4と最も高く，次いで東京都区部及び横浜市（共に105.1）などとなっており，これらの都市は，都道府県別の物価水準が特に高い東京都及び神奈川県に含まれる。

一方，最も低いのは前橋市（96.4）で，次いで奈良市（96.7），宮崎市（96.8），佐賀市（96.9）などとなっている。

(図1-4，別表4)

図1-4 都市別消費者物価地域差指数（総合）

(全国平均=100)



(注5) 都道府県庁所在市（東京都は東京都区部）及び政令指定都市（川崎市，相模原市，浜松市，堺市及び北九州市）を指す。

(5) 物価水準と人口規模との関係

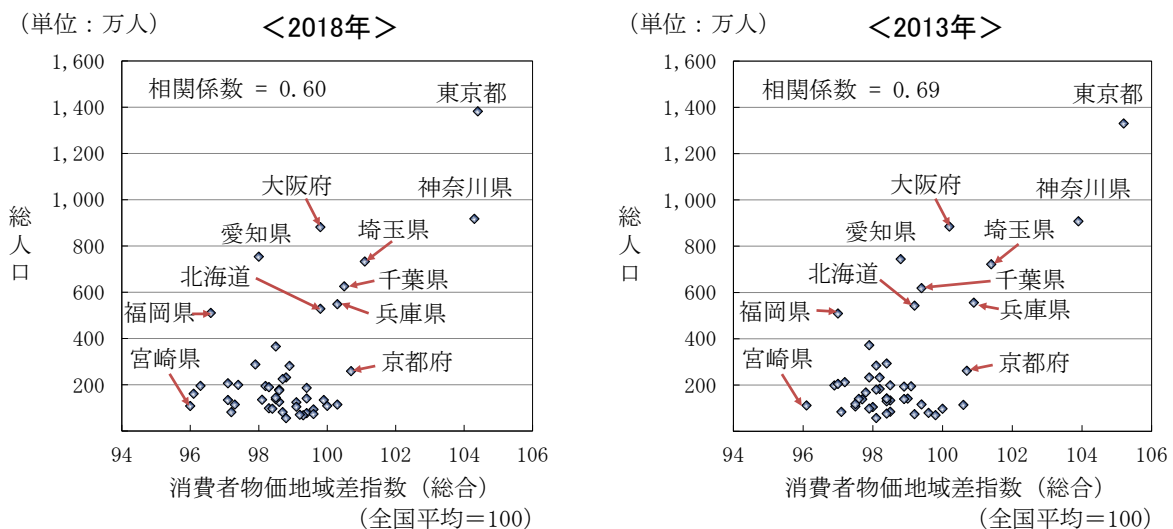
□ 「総合」の物価水準が高い地域は、人口規模も大きい傾向にある

物価水準と人口との関係の変化をみるため、都道府県別の消費者物価地域差指数(総合)^(注6)と総人口^(注7)との相関係数^(注8)を計算した。

その結果、2018年結果では、相関係数は0.60と正の相関がみられる。小売物価統計調査(構造編)開始年である2013年結果においても0.69と正の相関があり、傾向の変化はみられない。

(図1-5)

図1-5 物価水準(総合)と人口規模との相関



(注6) 消費者物価地域差指数は、年次ごとに全国平均に対する当該地域の物価水準を相対的に表すものであるため、指数値の変化は、当該地域における物価水準の時系列変化を表しているわけではない。

(注7) 各年10月1日現在の総人口(人口推計(総務省統計局))

(注8) 二つの変数がどのような関係性を持っているかを分析する指標であり、-1以上1以下の実数に値をとる。一つの変数が増えるともう一つの変数も増える傾向がみられる場合は「正の相関がある」といい、一つの変数が増えるともう一つの変数は減る傾向がみられる場合は「負の相関がある」という。正の相関が強いと相関係数は1に近づき、負の相関が強いと-1に近づく。

10大費目別にみると、最も相関が強いのは「住居」(0.81)で、次いで「教養娯楽」(0.72)となっており、これらは2013年結果でも同様である。

(表1-2)

表1-2 物価水準(10大費目別)と人口規模との相関係数

10大費目	相関係数 (2018年)	相関係数 (2013年)
総合	0.60	0.69
食料	0.12	0.30
住居	0.81	0.79
光熱・水道	-0.38	-0.22
家具・家事用品	0.21	0.13
被服及び履物	-0.14	-0.08
保健医療	0.17	0.17
交通・通信	0.64	0.42
教育	0.35	0.53
教養娯楽	0.72	0.72
諸雑費	0.12	0.17
(参考) 家賃を除く総合	0.46	0.54

(参考) 過去の結果との順位比較

「図1-5 物価水準(総合)と人口規模との相関」で特徴がある都道府県(北海道, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 福岡県及び宮崎県)の物価水準について, 順位^{※1}及び順位変動をみると, 順位が最も上昇したのは, 千葉県(11位→5位)で, 次いで北海道(13位→10位), 京都府(5位→4位)であった。

また, 順位が最も下落したのは, 愛知県(19位→37位)で, 次いで大阪府(7位→10位), 兵庫県(4位→6位)であった。

なお, 東京都, 神奈川県, 埼玉県, 福岡県及び宮崎県については, 変動はなかった。

(参考表, 別表3)

参考表 都道府県別消費者物価地域差指数(総合)^{※2}の順位比較
(2018年, 2013年)

(全国平均=100)

	都道府県	小売物価統計調査(構造編)				順位変動 〔2013年－ 2018年〕
		2018年		2013年		
		順位	指数	順位	指数	
上昇	千葉県	5	100.5	11	99.4	6
	北海道	10	99.8	13	99.2	3
	京都府	4	100.7	5	100.7	1
変動なし	東京都	1	104.4	1	105.2	0
	神奈川県	2	104.3	2	103.9	0
	埼玉県	3	101.1	3	101.4	0
	福岡県	44	96.6	44	97.0	0
	宮崎県	47	96.0	47	96.1	0
下降	愛知県	37	98.0	19	98.8	-18
	大阪府	10	99.8	7	100.2	-3
	兵庫県	6	100.3	4	100.9	-2

※1 都道府県別の消費者物価地域差指数(総合)が高い順

※2 消費者物価地域差指数は, 年次ごとに全国平均に対する当該地域の物価水準を相対的に表すものであるため, 指数値の変化は, 当該地域における物価水準の時系列変化を表しているわけではない。

2 店舗形態の違いによる価格差

店舗の形態が価格に及ぼす影響をみることを目的として、店舗形態の違いによる価格差をみる。ここでは、調査対象9品目について、スーパーと一般小売店、スーパーと量販専門店の年平均価格^(注9)をそれぞれ比較する。

※店舗形態

スーパー: 生鮮食品・家事雑貨を中心にセルフサービス方式で販売している店舗
一般小売店: 米穀店, 精肉店, 惣菜店, 酒飯店など特定分野の商品を販売している店舗
量販専門店: 医薬品・化粧品を中心に販売するドラッグストアや住関連商品を中心に販売するホームセンターなど

(注9) 全都道府県庁所在市の年平均価格

(1) スーパーと一般小売店の比較

- うるち米, コロッケ及び清酒はスーパーの価格が低い
- 豚肉は一般小売店の価格が低い

スーパーと一般小売店の価格差を比較することを目的として調査している4品目(うるち米^(注10), 豚肉^(注11), コロッケ及び清酒)の2018年(平成30年)平均価格をみると, うるち米, コロッケ及び清酒は, スーパーの価格が低くなっている。一方, 豚肉は一般小売店の価格が低くなっている。

また, スーパーの年平均価格を100として一般小売店の価格水準をみると, 清酒(118.3)の水準の差が最も大きくなっている。

2017年(平成29年)結果と比較すると, コロッケ及び清酒では価格水準の差が拡大している。拡大した要因は, 年平均価格について, コロッケは価格の高い一般小売店が上昇し, 価格の低いスーパーについては変化がなかったことによる。清酒は, 価格の高い一般小売店が上昇し, 価格の低いスーパーについては下落したことによる。

一方, うるち米では価格水準の差が縮小している。縮小した要因は, 年平均価格について, 価格の低いスーパーの上昇率が, 価格の高い一般小売店の上昇率を上回ったことによる。

さらに, うるち米について, 5年分(2014年~2018年)の結果を比較すると, 2014年から2015年にかけては, 価格水準の差が拡大していたが, その後は縮小している。

(表2-1, 図2-1, 図2-2)

(注10) うるち米は, 単一原料米(コシヒカリ以外)を調査している。

(注11) 豚肉は, バラ(黒豚を除く)を調査している。

表 2-1 調査対象 4 品目の店舗形態別年平均価格及び価格水準

品目 (単位)	店舗形態	2018年		2017年		2017年との比較 (2018年-2017年)	
		年平均 価格(円)	価格水準 (スーパーの 年平均価格 =100)	年平均 価格(円)	価格水準 (スーパーの 年平均価格 =100)	年平均 価格の 変化 (円)	年平均 価格の 変化率 (%)
うるち米 (1袋(5kg))	スーパー	2,138	100.0	2,026	100.0	112	5.5
	一般小売店	2,192	102.5	2,124	104.8	68	3.2
豚肉 (100g)	スーパー	237	100.0	234	100.0	3	1.3
	一般小売店	199	84.0	197	84.2	2	1.0
コロッケ (100g)	スーパー	100	100.0	100	100.0	0	0.0
	一般小売店	118	118.0	117	117.0	1	0.9
清酒 (1本(2,000mL))	スーパー	994	100.0	1,011	100.0	-17	-1.7
	一般小売店	1,176	118.3	1,164	115.1	12	1.0

図 2-1 調査対象 4 品目の店舗形態別価格水準
(スーパーの年平均価格=100)

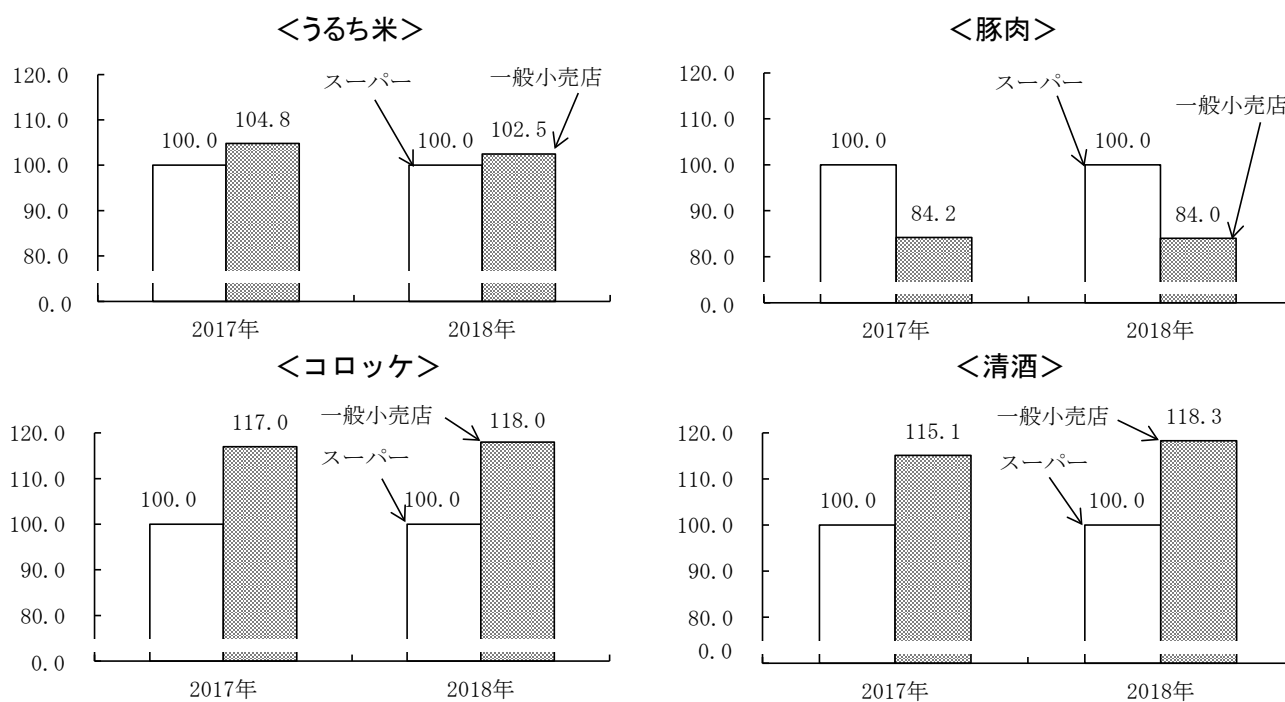
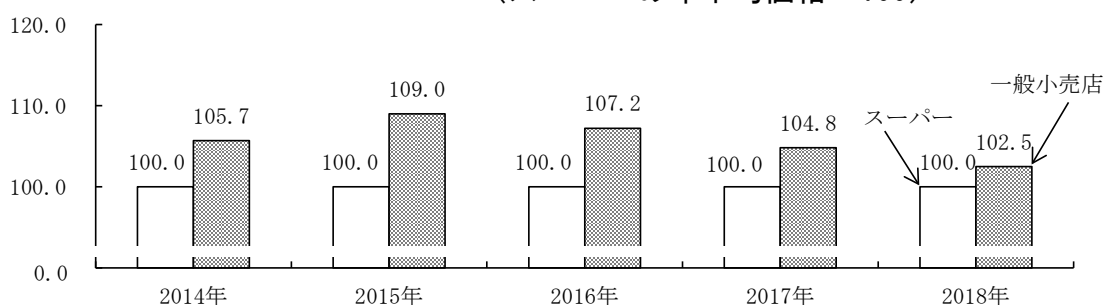


図 2-2 「うるち米」の店舗形態別価格水準 (2014年~2018年)
(スーパーの年平均価格=100)



(2) スーパーと量販専門店の比較

- ラップはスーパーの価格が低い
- 洗濯用洗剤、ドリンク剤、整髪料及び生理用ナプキンは量販専門店の価格が低い

スーパーと量販専門店の価格差を比較することを目的として調査している5品目（ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤、整髪料及び生理用ナプキン^(注12)）の2018年平均価格をみると、ラップを除いて量販専門店の価格が低くなっている。

また、スーパーの年平均価格を100として量販専門店の価格水準をみると、ドリンク剤が91.7と最も水準の差が大きく、次いで整髪料（96.0）となっている。

2017年結果と比較すると、ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤及び整髪料では価格水準の差が縮小している。縮小した要因は、年平均価格について、ラップは価格の高い量販専門店の下落率が、価格の低いスーパーの下落率を上回ったことによる。また、ドリンク剤及び整髪料は、価格の高いスーパーが下落し、価格の低い量販専門店については上昇したことによる。

さらに、ドリンク剤について、5年分（2014年～2018年）の結果を比較すると、価格水準の差はほぼ横ばい傾向となっている。

（表2-2、図2-3、図2-4）

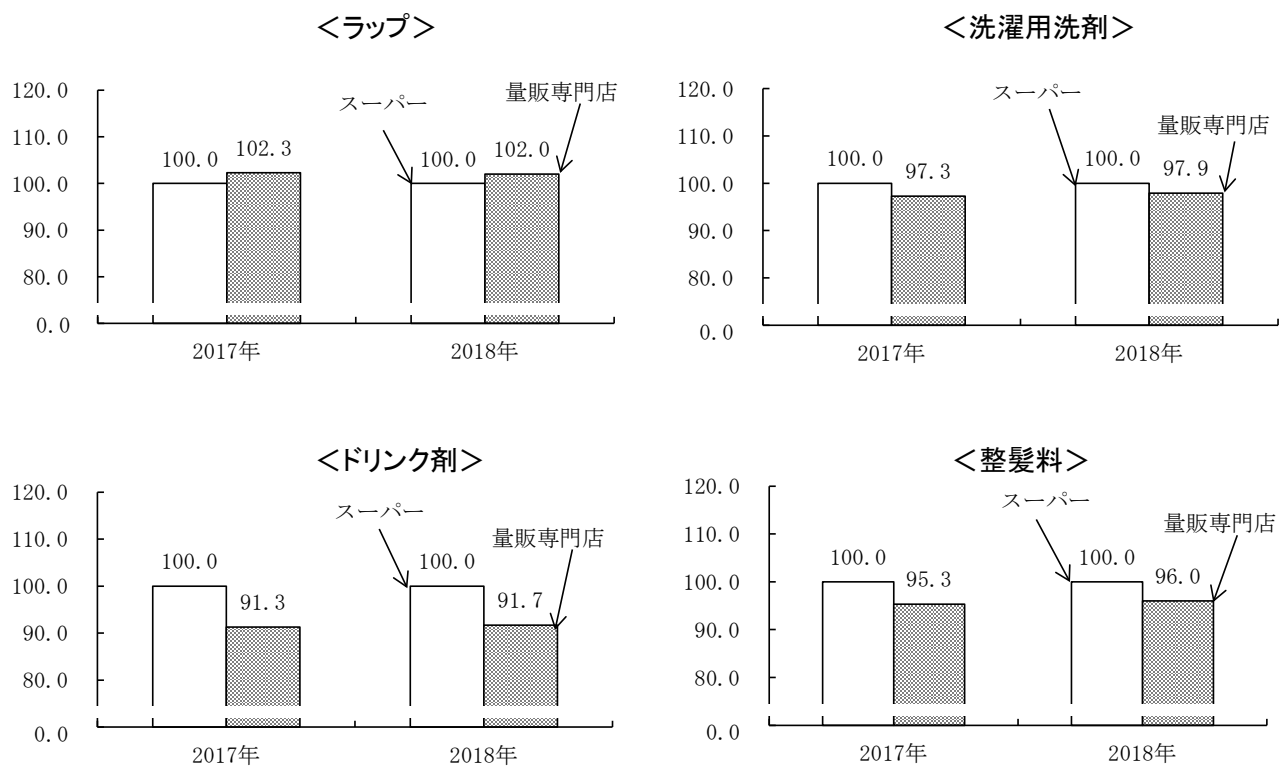
（注12）2018年に調査を開始した品目

表2-2 調査対象5品目の店舗形態別年平均価格及び価格水準

品目（単位）	店舗形態	2018年		2017年		2017年との比較 (2018年-2017年)	
		年平均 価格(円)	価格水準 (スーパーの 年平均価格 =100)	年平均 価格(円)	価格水準 (スーパーの 年平均価格 =100)	年平均 価格の 変化 (円)	年平均 価格の 変化率 (%)
ラップ (1本(幅22cm×長さ50m))	スーパー	300	100.0	301	100.0	-1	-0.3
	量販専門店	306	102.0	308	102.3	-2	-0.6
洗濯用洗剤 (1kg(液体))	スーパー	292	100.0	297	100.0	-5	-1.7
	量販専門店	286	97.9	289	97.3	-3	-1.0
ドリンク剤 (1箱(100mL×10本))	スーパー	1,089	100.0	1,093	100.0	-4	-0.4
	量販専門店	999	91.7	998	91.3	1	0.1
整髪料 (1個(80g))	スーパー	723	100.0	726	100.0	-3	-0.4
	量販専門店	694	96.0	692	95.3	2	0.3
生理用ナプキン (昼用, 10個)	スーパー	169	100.0	-	-	-	-
	量販専門店	168	99.4	-	-	-	-

「-」:2018年調査開始品目のため、当該数値がない。

図2-3 調査対象5品目の店舗形態別価格水準
(スーパーの年平均価格=100)



(2018年調査開始品目)

＜生理用ナプキン＞

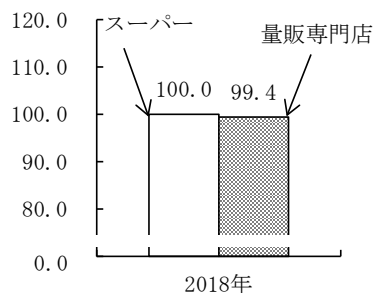
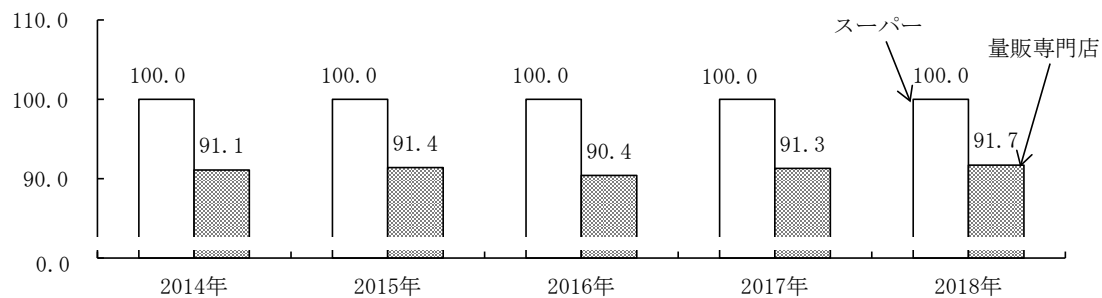


図2-4 「ドリンク剤」の店舗形態別価格水準 (2014年～2018年)
(スーパーの年平均価格=100)



別表1 10大費目別消費者物価地域差指数（都道府県）

（全国平均=100）

都道府県	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	(参考)家賃を除く総合
北海道	99.8	100.0	83.7	114.9	98.4	104.8	100.2	100.3	93.4	97.9	99.9	100.9
青森県	98.6	97.4	90.3	108.0	97.5	102.2	99.9	100.4	92.3	96.0	98.2	99.2
岩手県	99.1	97.6	90.6	109.5	99.9	99.6	101.6	99.4	90.5	100.9	98.7	99.7
宮城県	98.8	97.2	99.6	100.7	105.2	95.3	100.8	97.4	102.1	100.0	99.6	99.0
秋田県	98.3	97.6	88.7	107.1	101.0	100.6	99.3	98.1	88.7	98.1	100.2	98.8
山形県	100.0	100.8	88.7	110.7	93.4	101.0	96.8	99.6	109.9	98.5	97.7	100.5
福島県	99.4	99.6	92.5	108.0	100.6	103.5	99.8	98.3	94.9	95.5	102.3	100.0
茨城県	97.9	98.5	97.6	102.1	95.2	99.2	98.2	97.1	90.0	96.0	101.2	98.1
栃木県	98.2	98.4	86.8	97.1	99.5	117.4	99.9	97.5	102.5	95.7	99.4	98.7
群馬県	96.3	99.1	85.7	91.3	95.8	101.8	100.9	97.5	84.5	95.9	98.6	97.0
埼玉県	101.1	100.7	108.9	93.8	101.8	102.3	100.7	100.5	99.7	104.5	100.7	100.4
千葉県	100.5	101.2	102.5	101.0	101.8	94.4	100.0	99.1	97.6	102.8	99.4	100.5
東京都	104.4	103.1	133.0	94.8	103.9	99.6	101.3	104.7	106.0	103.8	100.2	102.7
神奈川県	104.3	102.1	123.6	97.4	101.5	104.1	101.5	103.7	111.6	105.5	102.7	103.4
新潟県	98.7	99.8	90.6	99.9	96.0	105.0	99.1	98.4	93.9	99.2	100.6	99.0
富山県	99.1	101.4	89.3	103.4	98.6	102.1	102.2	97.8	86.2	96.9	102.4	99.5
石川県	100.3	103.4	86.0	104.7	99.9	103.2	101.3	98.2	104.2	97.4	100.7	100.7
福井県	99.4	103.4	87.4	95.1	104.0	101.3	101.3	98.7	106.3	94.6	100.7	99.9
山梨県	98.7	100.4	94.0	95.5	102.5	103.5	99.2	98.2	89.7	98.4	100.8	99.2
長野県	97.1	94.4	88.2	101.1	100.3	101.3	97.9	100.1	90.0	98.3	102.1	97.7
岐阜県	97.4	97.9	84.8	93.7	94.3	107.1	99.4	100.2	92.0	97.9	100.6	98.0
静岡県	98.5	99.2	97.0	98.1	101.0	98.7	100.0	99.4	85.4	99.4	98.4	98.8
愛知県	98.0	98.0	95.1	96.3	96.3	96.3	100.2	97.9	98.8	100.3	99.3	98.3
三重県	98.6	101.2	91.6	99.3	97.5	100.5	99.4	98.8	99.9	95.6	96.2	99.3
滋賀県	99.4	100.0	89.3	100.7	96.9	100.1	100.2	100.4	110.3	96.5	102.3	99.9
京都府	100.7	100.9	92.8	100.4	101.5	97.2	97.5	102.0	116.0	101.0	101.1	101.0
大阪府	99.8	99.4	97.7	97.6	99.8	96.3	99.1	100.9	110.5	102.1	97.3	99.9
兵庫県	100.3	99.8	98.6	99.1	101.1	104.2	98.1	100.7	100.7	100.5	102.5	100.3
奈良県	97.1	96.0	85.8	101.1	97.4	93.5	98.8	100.2	95.3	100.0	99.0	97.5
和歌山県	99.6	100.7	94.8	100.9	95.9	102.0	101.6	99.0	107.7	96.0	100.3	100.3
鳥取県	98.8	101.6	82.9	106.7	100.4	106.4	99.8	97.3	89.7	94.5	99.7	99.4
島根県	99.3	101.3	83.9	111.2	98.7	99.6	98.3	99.3	97.2	96.8	100.1	100.0
岡山県	98.3	100.1	87.3	106.6	103.2	101.4	100.5	96.2	86.4	96.4	100.2	98.9
広島県	98.9	101.1	88.6	105.6	96.7	96.4	99.7	99.1	99.5	95.3	99.8	99.4
山口県	98.5	99.9	88.4	109.0	98.0	105.4	101.6	96.9	84.9	95.1	100.2	99.1
徳島県	99.6	100.9	92.2	103.7	101.8	110.6	98.0	96.5	98.8	97.9	100.1	100.2
香川県	98.4	98.5	88.2	104.1	101.0	97.5	99.8	100.0	93.9	95.2	102.8	99.0
愛媛県	98.1	100.2	82.7	105.4	100.2	99.0	99.4	98.1	93.2	97.7	97.7	98.9
高知県	99.2	103.0	89.8	102.2	98.5	99.9	100.7	98.0	90.9	96.7	100.2	100.1
福岡県	96.6	95.1	85.4	102.9	98.8	92.6	99.6	99.0	96.0	97.2	101.4	97.3
佐賀県	97.2	98.3	83.8	106.8	97.2	103.5	100.2	98.8	92.6	91.8	98.2	98.2
長崎県	99.9	98.9	94.2	108.4	104.1	109.5	99.9	99.9	91.4	96.8	100.9	100.1
熊本県	98.6	101.2	86.7	100.1	100.1	100.6	101.0	99.7	93.6	95.0	100.7	99.6
大分県	97.3	98.7	84.2	102.6	99.9	95.0	96.5	97.8	106.6	95.4	97.3	98.4
宮崎県	96.0	96.3	86.7	99.4	102.7	94.1	99.2	97.8	91.0	92.7	97.6	96.9
鹿児島県	96.1	99.2	85.3	98.6	96.0	89.9	99.8	98.9	92.8	92.2	93.5	96.7
沖縄県	98.5	103.0	85.2	105.6	97.9	99.3	98.4	97.3	98.3	96.8	95.0	99.9

別表2 総合に対する10大費目別寄与度（都道府県）

都道府県	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
北海道	0.01	-1.26	1.33	-0.06	0.22	0.01	0.06	-0.21	-0.24	-0.01
青森県	-0.82	-0.61	0.76	-0.11	0.10	0.00	0.07	-0.25	-0.44	-0.12
岩手県	-0.75	-0.62	0.87	0.00	-0.02	0.09	-0.11	-0.32	0.10	-0.09
宮城県	-0.88	-0.03	0.06	0.21	-0.22	0.04	-0.45	0.07	0.00	-0.02
秋田県	-0.76	-0.74	0.68	0.04	0.03	-0.04	-0.34	-0.34	-0.21	0.01
山形県	0.25	-0.72	1.00	-0.28	0.05	-0.16	-0.06	0.26	-0.17	-0.16
福島県	-0.11	-0.49	0.72	0.03	0.16	-0.01	-0.31	-0.17	-0.52	0.15
茨城県	-0.47	-0.16	0.17	-0.21	-0.04	-0.09	-0.53	-0.40	-0.47	0.08
栃木県	-0.49	-0.88	-0.25	-0.02	0.77	-0.01	-0.46	0.10	-0.50	-0.04
群馬県	-0.27	-0.95	-0.75	-0.19	0.08	0.05	-0.44	-0.63	-0.48	-0.09
埼玉県	0.21	0.59	-0.53	0.07	0.11	0.03	0.09	-0.01	0.52	0.05
千葉県	0.38	0.16	0.08	0.08	-0.28	0.00	-0.15	-0.10	0.34	-0.04
東京都	0.97	2.21	-0.43	0.16	-0.02	0.07	0.72	0.29	0.46	0.01
神奈川県	0.66	1.56	-0.22	0.06	0.20	0.08	0.61	0.49	0.66	0.18
新潟県	-0.06	-0.64	-0.01	-0.17	0.22	-0.04	-0.30	-0.22	-0.09	0.04
富山県	0.43	-0.69	0.29	-0.06	0.10	0.11	-0.39	-0.49	-0.37	0.16
石川県	1.04	-0.90	0.40	0.00	0.15	0.07	-0.35	0.16	-0.29	0.05
福井県	1.04	-0.87	-0.45	0.16	0.06	0.06	-0.23	0.19	-0.64	0.05
山梨県	0.12	-0.40	-0.41	0.10	0.16	-0.04	-0.31	-0.40	-0.18	0.05
長野県	-1.73	-0.80	0.09	0.01	0.06	-0.11	0.02	-0.35	-0.19	0.14
岐阜県	-0.62	-1.01	-0.55	-0.24	0.31	-0.03	0.04	-0.31	-0.25	0.04
静岡県	-0.25	-0.20	-0.16	0.04	-0.06	0.00	-0.11	-0.61	-0.07	-0.11
愛知県	-0.63	-0.32	-0.31	-0.16	-0.18	0.01	-0.37	-0.05	0.04	-0.05
三重県	0.37	-0.57	-0.06	-0.10	0.02	-0.03	-0.22	0.00	-0.54	-0.26
滋賀県	-0.01	-0.68	0.06	-0.13	0.00	0.01	0.07	0.36	-0.42	0.15
京都府	0.27	-0.47	0.04	0.06	-0.13	-0.13	0.33	0.58	0.12	0.07
大阪府	-0.19	-0.16	-0.21	-0.01	-0.18	-0.05	0.14	0.42	0.25	-0.18
兵庫県	-0.06	-0.10	-0.08	0.04	0.21	-0.10	0.12	0.02	0.06	0.17
奈良県	-1.24	-1.00	0.09	-0.11	-0.32	-0.06	0.03	-0.18	0.00	-0.07
和歌山県	0.21	-0.35	0.08	-0.18	0.09	0.08	-0.18	0.25	-0.45	0.02
鳥取県	0.48	-1.12	0.57	0.02	0.28	-0.01	-0.50	-0.31	-0.64	-0.02
島根県	0.38	-1.20	0.92	-0.06	-0.02	-0.09	-0.13	-0.11	-0.36	0.01
岡山県	0.02	-0.92	0.54	0.14	0.07	0.03	-0.69	-0.51	-0.41	0.01
広島県	0.34	-0.83	0.45	-0.14	-0.17	-0.02	-0.16	-0.02	-0.54	-0.01
山口県	-0.03	-0.80	0.72	-0.09	0.24	0.08	-0.58	-0.52	-0.57	0.01
徳島県	0.27	-0.55	0.32	0.08	0.50	-0.11	-0.62	-0.05	-0.25	0.01
香川県	-0.44	-0.81	0.33	0.04	-0.12	-0.01	0.00	-0.22	-0.57	0.19
愛媛県	0.05	-1.28	0.44	0.01	-0.05	-0.03	-0.35	-0.26	-0.27	-0.17
高知県	0.89	-0.77	0.18	-0.06	0.00	0.03	-0.37	-0.33	-0.38	0.02
福岡県	-1.50	-1.12	0.23	-0.05	-0.38	-0.02	-0.18	-0.16	-0.32	0.10
佐賀県	-0.52	-1.33	0.57	-0.12	0.16	0.01	-0.21	-0.26	-0.94	-0.12
長崎県	-0.35	-0.41	0.69	0.18	0.44	-0.01	-0.02	-0.29	-0.36	0.06
熊本県	0.36	-1.03	0.01	0.01	0.03	0.05	-0.06	-0.22	-0.56	0.05
大分県	-0.38	-1.17	0.21	-0.01	-0.25	-0.18	-0.41	0.21	-0.53	-0.19
宮崎県	-1.13	-0.99	-0.04	0.11	-0.27	-0.04	-0.41	-0.30	-0.81	-0.17
鹿児島県	-0.24	-1.03	-0.11	-0.18	-0.49	-0.01	-0.19	-0.27	-0.89	-0.46
沖縄県	0.93	-1.54	0.48	-0.09	-0.02	-0.08	-0.46	-0.09	-0.33	-0.34

別表3 都道府県別消費者物価地域差指数（総合）の順位比較（2018年, 2013年）

（全国平均=100）

都道府県	2018年		2013年		順位変動 〔2013年- 2018年〕
	順位	指数	順位	指数	
北海道	10	99.8	13	99.2	3
青森県	26	98.6	20	98.5	-6
岩手県	19	99.1	23	98.4	4
宮城県	22	98.8	28	98.2	6
秋田県	33	98.3	33	98.0	0
山形県	8	100.0	6	100.6	-2
福島県	14	99.4	15	99.1	1
茨城県	38	97.9	23	98.4	-15
栃木県	35	98.2	20	98.5	-15
群馬県	45	96.3	46	96.9	1
埼玉県	3	101.1	3	101.4	0
千葉県	5	100.5	11	99.4	6
東京都	1	104.4	1	105.2	0
神奈川県	2	104.3	2	103.9	0
新潟県	24	98.7	34	97.9	10
富山県	19	99.1	40	97.5	21
石川県	6	100.3	11	99.4	5
福井県	14	99.4	10	99.6	-4
山梨県	24	98.7	20	98.5	-4
長野県	42	97.1	42	97.2	0
岐阜県	39	97.4	44	97.0	5
静岡県	29	98.5	34	97.9	5
愛知県	37	98.0	19	98.8	-18
三重県	26	98.6	28	98.2	2
滋賀県	14	99.4	16	99.0	2
京都府	4	100.7	5	100.7	1
大阪府	10	99.8	7	100.2	-3
兵庫県	6	100.3	4	100.9	-2
奈良県	42	97.1	38	97.7	-4
和歌山県	12	99.6	8	100.0	-4
鳥取県	22	98.8	30	98.1	8
島根県	17	99.3	9	99.8	-8
岡山県	33	98.3	17	98.9	-16
広島県	21	98.9	30	98.1	9
山口県	29	98.5	23	98.4	-6
徳島県	12	99.6	23	98.4	11
香川県	32	98.4	34	97.9	2
愛媛県	36	98.1	39	97.6	3
高知県	18	99.2	13	99.2	-5
福岡県	44	96.6	44	97.0	0
佐賀県	41	97.2	43	97.1	2
長崎県	9	99.9	17	98.9	8
熊本県	26	98.6	30	98.1	4
大分県	40	97.3	40	97.5	0
宮崎県	47	96.0	47	96.1	0
鹿児島県	46	96.1	37	97.8	-9
沖縄県	29	98.5	23	98.4	-6

（注）消費者物価地域差指数は、年次ごとに全国平均に対する当該地域の物価水準を相対的に表すものであるため、指数値の変化は、当該地域における物価水準の時系列変化を表しているわけではない。

別表4 都市別消費者物価地域差指数

(全国平均=100)

都市	総合	(参考) 家賃を除く総合	食料	都市	総合	(参考) 家賃を除く総合	食料		
								都道府県庁所在市	札幌市
青森市	98.6	99.2	97.8	奈良市	96.7	97.0	95.1		
盛岡市	99.4	99.8	99.1	和歌山市	99.8	100.5	101.2		
仙台市	99.2	99.4	97.7	鳥取市	98.3	99.0	100.9		
秋田市	98.2	98.6	98.2	松江市	99.8	100.4	102.0		
山形市	99.4	100.0	99.9	岡山市	98.5	99.1	101.3		
福島市	100.3	100.8	102.9	広島市	98.9	99.4	101.2		
水戸市	98.6	99.1	98.5	山口市	98.5	99.5	100.6		
宇都宮市	99.2	99.7	99.8	徳島市	100.2	101.2	103.3		
前橋市	96.4	96.9	98.3	高松市	98.9	99.4	98.8		
さいたま市	102.8	101.9	101.4	松山市	98.0	99.0	99.7		
千葉市	101.1	101.1	102.2	高知市	99.2	100.1	103.2		
東京都区部	105.1	103.0	103.0	福岡市	97.0	97.7	94.6		
横浜市	105.1	104.2	102.8	佐賀市	96.9	97.8	97.4		
新潟市	98.9	99.1	100.6	長崎市	101.2	101.0	99.8		
富山市	99.5	100.1	103.0	熊本市	98.4	99.4	101.0		
金沢市	100.3	100.7	103.4	大分市	98.0	99.1	100.0		
福井市	99.3	99.9	103.1	宮崎市	96.8	97.4	98.2		
甲府市	99.4	99.9	100.8	鹿児島市	97.2	97.6	100.8		
長野市	97.5	98.1	94.3	那覇市	99.2	100.4	104.6		
岐阜市	98.1	98.9	98.6	政令指定都市	川崎市	105.4	103.7	102.1	
静岡市	99.2	99.1	99.6		相模原市	103.1	102.7	102.8	
名古屋市	98.9	99.0	98.5		浜松市	98.3	98.8	99.2	
津市	98.2	98.8	100.6		堺市	100.2	100.5	99.6	
大津市	100.4	100.9	101.2		北九州市	97.1	97.8	97.7	
京都市	100.9	101.1	101.1						
大阪市	99.9	99.6	100.0						

(注) 都市とは都道府県庁所在市(東京都は東京都区部)及び政令指定都市(川崎市, 相模原市, 浜松市, 堺市及び北九州市)のことである。

参考 小売物価統計調査（構造編）の概要

（１）調査の目的と沿革

物価構造については、2007年（平成19年）まで5年ごとに実施されてきた全国物価統計調査により把握してきたが、消費・流通構造の変化が加速する中で、5年周期の統計では物価構造の変化を的確に把握することが困難な状況となってきたことから、全国物価統計調査で把握してきた地域別価格差、店舗形態別価格及び銘柄別価格を毎年把握するための調査を「構造編」として、小売物価統計調査に盛り込み、従前の小売物価統計調査を「動向編」と位置付け、全国物価統計調査を中止することとした。

小売物価統計調査（構造編）は、地域別、店舗の形態別等の物価を明らかにすることを目的とし、地域別価格差調査、店舗形態別価格調査及び銘柄別価格調査の3つの調査の種別を設け、2013年（平成25年）1月から実施している。

（２）各調査の概要

	1 地域別価格差調査	2 店舗形態別価格調査	3 銘柄別価格調査
目的	主として都道府県別消費者物価地域差指数を作成	店舗形態別価格表の作成	構造編で独自に指定した銘柄の価格表の作成
調査地域	動向編調査地域(167市町村)以外の88市※	道府県庁所在市46市(東京都区部除く)	東京都区部
調査月	奇数月	偶数月	偶数月
調査品目	56品目(58銘柄) 店舗や地域により価格差が見られるもの、ウエイトの大きいもの等の条件を満たす品目を選定	9品目(9銘柄) スーパー以外でも価格を取集でき、店舗形態別の価格差が見込める代表的な品目を選定	9品目(9銘柄) 今後、動向編の調査銘柄となりそうな銘柄や、まとめ売りなどの販売形態の異なる銘柄が存在する品目から選定

※<https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/kchosasi.pdf>に掲載

（３）調査価格

調査店舗で消費者に販売している通常価格を調査することとしている。各品目の代表的な価格を調査するという観点から、短期間の特売価格や棚ざらい、在庫一掃セール等の特売価格は調査しない。

（４）結果の公表

集計結果は、総務省統計局で取りまとめ、原則として調査年の翌年の6月までに公表する予定である。ただし、消費者物価指数の基準年の集計結果については、基準改定に伴う公表が完了した後（9月頃）に公表する。

<問合せ先>



統計調査部 消費統計課物価統計室

物価構造審査発表係

〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号

電話 : (03) 5273-1179

FAX : (03) 5273-3129

E-mail : w-bukka@soumu.go.jp

- ・小売物価統計調査（構造編）ホームページ



<https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/index.html>

- ・この冊子は、次の URL からダウンロードできます。



https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g_2018.pdf

- ・結果の概要は、統計メールニュースでも配信しています。メールニュースのお申込みは、統計局ホームページから。
- ・本調査の統計データを引用・転載する場合には、出典（総務省「小売物価統計調査（構造編）結果」）の表記をお願いします。
- ・引用・転載した場合は、物価構造審査発表係まで御連絡ください。